

# 佐原聖家族園新聞

R2.7.14第135号発行  
発行責任者：飯島広司  
編集：宮内・藤原  
          實川・秋葉



## ひまわり再開



新型コロナウイルスの関係で、3月下旬から休止していた、ひまわり（通所）でしたが、6月より1日あたりの受け入れ人数を制限しつつ再開をしました。

1ヶ月以上の休止期間はありませんでしたが、久しぶりの利用に「楽しかった」という声も多く聞かれました。とても嬉しく思うとともに、これからも「楽しかった」「また、明日もひまわりに行きたい!」と思っていただけるような場所にしていきたいと改めて思いました。

ひまわり担当 逸見 諭



ひまわり(室内)では、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、マッチング・シュレッター・計算や漢字のプリント・綿棒を使ったモザイクアートなどを行っています。

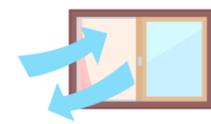


原木運び、香取庭園の草抜き、マリーゴールドの水やりなどを行っています。



天気の良い日はお散歩！熱中症予防を施しつつ、午前・午後たっぷり散歩をしています。

神南小学校と、返田神社が定番コースですが、神之池(神栖)でのウォーキングも行いました。



## ナザレの家かとり



千葉県内での爆発的な感染が確認されてから、4月・5月と通所や外出を控えてまいりました。今まで誰も経験したことのないパンデミック。いつ終わるのかわからない自粛生活をする上で、様々な葛藤と闘いながら過ごした2ヶ月間であり、様々な課題も見えてきました。

緊急事態宣言が解除され、感染対策を行いながら6月より通所を再開しましたが、新型コロナウイルスが消えたわけではありません。再び近隣での感染者の増加傾向が見られる場合は、やむを得ず自粛生活に戻らざるを得ません。

今後も周囲の感染情報に細心の注意をはらいながら、感染予防に努めてまいります。

ナザレの家 佐藤 陽

### 私の自粛生活

3月から小学校が休校に！それから毎日子供たちが家にいる生活が始まり、ドリルや学校からのプリントをやり、私が休みの日には外で運動！あとはみんなで家にこもる生活！！マスクと消毒を常に常備し、こまめに消毒、買い物はメモを持って短時間で済ませます。そんな中でも長女は料理をやり始め、味噌汁は一人で作れるように！妻は、子供達のマスクをたくさん作り、私の方も1つ作ってくれました。（支援員：秋葉陽介）

### ☆急募☆

### 未経験者でも大歓迎！

佐原聖家族園及びナザレの家かとりでは、正社員からパートタイマーまで幅広くスタッフを募集しております。興味のある方は是非ご一報ください。

佐原聖家族園（障害者支援施設）…看護師・生活支援員・調理員

ナザレの家かとり（グループホーム）…生活支援員・世話人

社会福祉法人 ロザリオの聖母会  
さわら せい かぞくえん

### 佐原聖家族園

〒287-0027 千葉県香取市返田323-1

TEL 0478-50-7117

FAX 0478-50-7118

佐原聖家族園E-Mail : s-kazoku@rosario.jp

ロザリオE-Mail : honbu@rosario.jp

### 編集後記

こんにちは！新型コロナウイルスで世界中にさまざまな影響を及ぼしていますが、皆様いかがお過ごしですか？当園では利用者の皆さんは毎日とても元気に過ごされています。私は外出自粛中は遂にお菓子作りにハマり出しました。毎日のように作っていましたが、今は休憩中です(笑) <實川>

# 私達の生活～さくらの家～

さくら小舎の新生活は、利用者の方の得意なことや好きなことをして過ごしています。パズルやプリント等に一生懸命取り組まれていたり、天気の良い日は散歩に出たりと、この時期だからこそ出来る活動をしています。パズルが得意な方は、完成させるまで熱中されています。雨天で外に出られない日は「晴れますように・・・」と願いを込めてティッシュペーパーでてる坊主を作りました。また、職員が掃除をしているとその様子を見て、手伝って下さる方もいて、とても助かっています。

自粛が続き、気分的にも下がってしまう頃ですが今だからこそ出来る、利用者の皆さんが楽しめるような活動をしていきたいと思えます。

さくら小舎担当 宮内菜摘



**職員リレートーク46** 職員が自由に語る職員リレートーク。  
令和2年の第4回目は…日下部美千子支援員です。

この季節になると毎朝、庭の木々や菜園を見て廻るのが好きです。朝5時になると必ず飼い猫に起こされます。

今は庭のブルーベリーがピンク色の蕾を沢山付けています。夏には紫色の実になり、秋には葉が紅くなりとてもキレイです。1年を通して楽しませてくれます。5歳になる孫が好きで、ほとんど食べてしまいます。

仕事の傍ら、そんな日々を過ごしています。これがささやかな楽しみの一つです。

私も、佐原聖家族園でお世話になり14年目になりました。50歳を過ぎてからの再就職でもあり、戸惑いと驚きの日々でした。でもどうにか、今日まで続けてこれたのも職員の皆さんの協力があったからだととても感謝しています。



# ペンキでリフォーム

日中作業の一つとして、ペンキ塗りを行いました。普段は鉛筆やペンは持つことはあっても、ペンキを塗るブラシというものはなかなか触る機会がありません。私も片手で数えるぐらいしか持ったことがありません。そう考えるとなかなか貴重な経験なのではないでしょうか。羨ましい・・・。

そんなことは置いといて、施設長と一緒にペンキを塗ってくれましたが、とても上手に塗ることが出来ました。世間はコロナで気分が下がっていますが、園のベンチに関しては色も変わったことですし、皆さんに気持ちよく使って頂けるようきちんと手入れをしていき、晴れたときには外でこのベンチに座って冷たいコーヒーで一服しましょう！なんて優雅なひと時を過ごせたらいいなと考えております。

支援員 藤原 俊



# 新生活始めました！

佐原聖家族園は、現在、男性棟を多目的ホール堺に2つに分け、女性棟の合計3つのエリアに分けて生活を送っています。これまでの作業中心の日中活動から、エリア・小舎単位での活動に変更し、個別対応の時間を重視しています。朝の整容も、以前は作業時間に合わせて、忙しく行っていたが、一人ひとりに丁寧な対応が出来るようになりました。ある小舎は、ラジオ体操をしたり、リハビリのための運動をみんなでやったり、季節の制作活動をして掲示したり、華やかな小舎になってます。個人個人の好きな事に取り組んで、パズルや散歩、中庭での日向ぼっこ等を行っています。中庭や小舎間の小庭は、のんびりと過ごせる空間へと順次改善を図っています。これまでの作業活動とは違いますが、それぞれがメリハリのある時間を過ごせています。

現在、ドライブや買い物は実施しておりませんが、これはコロナ対策ということだけではなく、生活の見直しの一環によるものです。今後、新たな生活スタイルの中で実施していきますので、もうしばらくお待ちください。新たな楽しみを見つけられるよう、日々検討を重ねています。

支援員：秋葉陽介

## ★ご報告★

毎年8月に開催している納涼祭ですが、今年は新型コロナウイルス対策の為、残念ながら中止させて頂きます。20周年の節目の年であり、地域の皆様をはじめ、ご家族、関係者の皆様には大変申し訳ございませんが、ご理解とご協力をお願い致します。